

## Press Release

2018年10月18日  
株式会社フェニクシー

### ESG 投資促進で社会的起業を支援し、日本型イノベーションを実現 大企業発のベンチャー育成プログラム始動

～企業向けレジデンス付き異業種連携インキュベータを京都に6月開設、  
企業在籍者の起業挑戦を増やし、未来のユニコーン・ベンチャー創出へ、  
日本を代表する起業家や投資家が参画～

株式会社フェニクシー（本社：京都市中京区、社長：橋寺由紀子、以下 フェニクシー）は、京都市左京区にレジデンス付き異業種連携インキュベータ（以下 インキュベータ）を開設し、2019年6月より第一期インキュベーションプログラム（以下 プログラム）を開始します。大企業在籍者の新規事業開発・起業を多面的に支援し、社会的課題解決に繋がる事業の増加と ESG 投資のひとつであるインパクト投資を促進する 21 世紀型ビジネスモデルを実現し、ユニコーン・ベンチャーの創出に貢献します。本プロジェクトには、日本を代表する起業家であり投資家である久能祐子氏、松本大氏、鎌田富久氏、数多くの大手企業の社外取締役を務める小林いずみ氏が参画します。

本プログラムでは、環境やエネルギー問題、地球規模の気候変動がもたらす災害への対応、少子高齢化に伴う地域格差など私たちをとりまく様々な社会的課題をビジネスチャンスとしてとらえ、その解決に通じる新しい事業の創出を目指します。大企業の優れた人材が在籍したまま起業できる寛容で高密度な共創の場を提供し、起業を通じてイノベーションの可能性と確度を高めることを目的としています。居住を共にしながら事業アイデアを育成する 4 か月間のインキュベーション期間と、事業運営を小スケールで行う半年程度のパイロット期間、その後の評価期間にわかれています。インキュベーション期間の終了時に行われるピッチイベントにおいて基準をクリアした事業及び参加者は、ベンチャーキャピタルやインパクトファンドからの投資を受け、所属企業内での事業化や起業にチャレンジする機会を獲得することになります。

近年米国や中国ではユニコーンと呼ばれる企業価値 10 億ドル以上の未公開企業が続々と登場し、短期間で高い企業価値を持つ会社に成長しています。このプログラムは企業内に潜在するアイデアや人材に対して、イノベーションを創出しやすい多様性のある環境を提供し、事業の立上げを通貫でサポートすることで、ユニコーンの創出や次世代の起業へとつなげる好循環を生み出すことを目指す日本初の取り組みです。企業、大学、地域、行政、起業経験者そして起業を目指す人たちがゆるやかな連携を維持しながら、イノベーションと社会的インパクトを生み出し、そこから新たなアウトカムが循環していく仕組み、ビ

ジネスエコシステムの創造を目指しています。わたしたちの活動が生み出す社会的インパクトをより多くの分野に応用できるよう、インパクト評価のための指標作りを進め、インパクト投資の促進や規模拡大のためのネットワークづくりも進めてまいります。

【第一期インキュベーションプログラム参加企業】

味の素株式会社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、ダイキン工業株式会社、東京海上ホールディングス株式会社、NISSHA 株式会社、富士フイルム株式会社、株式会社三菱ケミカルホールディングス

【プログラム協力】

京都大学経営管理大学院グローバル社会起業講座、京都大学大学院総合生存学館  
Halcyon Incubator  
株式会社三菱総合研究所

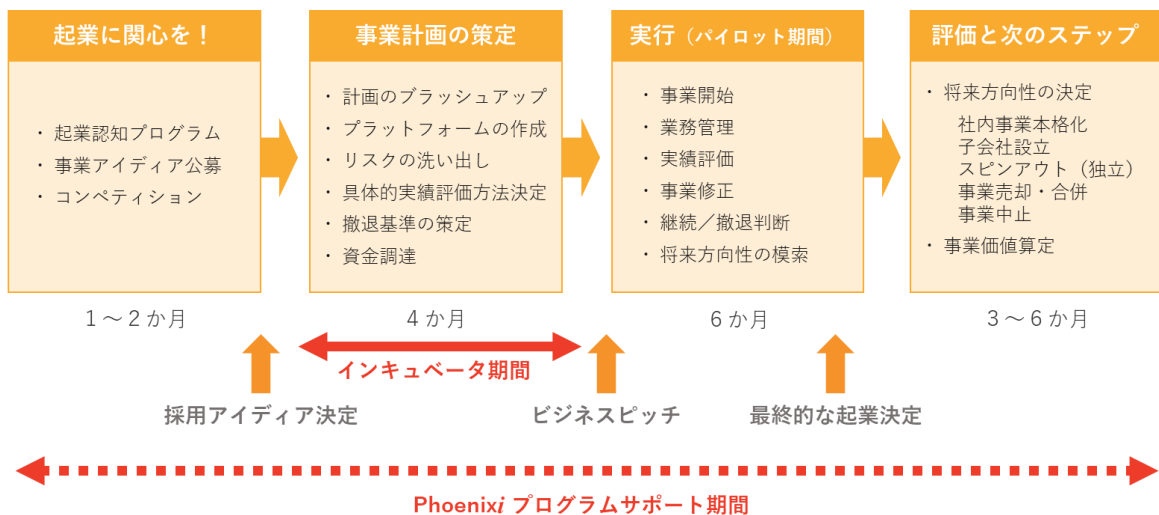
【参加者の利点】

企業に所属しながら自己実現・社会的課題の解決に関わる機会  
起業や新規事業開発に伴う経験やスキルの獲得  
グローバル・ビジネスに対応する英語スキルの獲得

【参加企業の利点】

既存の価値観や社内文化と切り離された共創環境での新規事業開発の機会  
投資家視点を有する経営人材の育成  
他企業のプロジェクトへの投資機会

【プログラム概要】



【インキュベータ完成図】



設計：大西麻貴 + 百田有希/o+h+榮家志保

【株式会社フェニクシーについて】

名称	: 株式会社フェニクシー (Phoenixi. Co., Ltd.)
代表者	: 代表取締役社長 橋寺 由紀子
所在地	: 京都市中京区河原町通二条下る二丁目下丸屋町 403 番地
設立	: 2018 年 3 月
事業内容	: 新規事業創出のための支援 起業または創業のためのコンサルティング レジデンス付きインキュベータの運営 (2019 年 6 月開設予定) インパクトファンドの運営 (2019 年 10 月立上げ予定)
資本金	: 1980 万円 (資本準備金を含む)
ミッション	: 個人・組織・社会の持つあらゆる創造性が結集するリスクに寛容な場を提供し、 社会起業とインパクト投資の促進を通じてより良い社会の構築を目指す
URL	: <a href="http://www.phoenixi.co.jp">http://www.phoenixi.co.jp</a>

【創業メンバーについて】

株式会社フェニクシー 代表取締役社長 橋寺 由紀子 (はしてら ゆきこ)

1989 年神戸女子薬科大学卒業後、上野製薬株式会社医薬品事業部へ入社し、14 年間にわたり緑内障治療薬、慢性特発性便秘症治療薬の研究開発に携わる。2001 年同社の医薬品事業部のスピンアウトに伴い株式会社アールテック・ウエノへ転籍、同時にマネージメントチームの一員となる。2006 年同社代表取締役社長に就任し、2008 年 4 月の大阪ヘラクレス市場 (現ジャスダック市場) への上場では中心的役割を果たした。同社退職後、2012 年京都大学大学院医学研究科を修了。2013 年京都大学経営管理大学院を修了。

2018 年 3 月株式会社フェニクシーを起業し、同社の代表取締役に就任。

#### 株式会社フェニクシー 取締役 久能 祐子 (くのう さちこ)

科学者になることを目指し、京都大学工学部に進学、ミュンヘン工科大学への留学を経て、1983年京都大学大学院工学研究科で博士号を取得。

1989年、科学者から転身して株式会社アルテック・ウエノを共同創業し、1994年に初めてのプロトン系緑内障治療薬となる「レスキュラ点眼液」の商品化に成功。1996年米国に拠点を移し、スキャンボ・ファーマシューティカルズ社を共同創業し初代 CEO となる。同社でも慢性特発性便秘症および過敏性腸症候群治療薬「アミティーザ」の商品化に成功。2012年に革新的ワクチン開発を目指す VLP セラピューティクスを共同創業した。

社会起業家としては、S&R 財団を設立し理事長兼 CEO を務めるほか、ジョンズホプキンス大学、マンフィールド財団などの理事でもある。2014年に社会起業家を育成するハルシオン・インキュベータをワシントン DC に設立した。

これまで多数の賞を受賞し、2017年には、「エイボン女性年度賞 2016 大賞」および「Harvard Business School club of Japan Business Stateswoman of the Year for 2016」を受賞。Forbes 誌の「アメリカで自力で成功を収めた女性 50 人」にも選出（2015年）されている。

#### 株式会社フェニクシー 取締役 小林 いずみ (こばやし いずみ)

1981年成蹊大学文学部卒業後、三菱化成工業（現三菱ケミカル）入社。1985年にメリルリンチ日本法人に転じ、2001～2008年の間、女性として初めてメリルリンチ日本証券株式会社の代表取締役社長を務め、2005年には米紙ウォール・ストリート・ジャーナル「注目すべき女性 50 人」に選ばれる。2008～2013年には多数国間投資保証機関（MIGA）長官を務める。2013年より ANA ホールディング株式会社社外取締役、2014年より三井物産株式会社社外取締役、2015年より経済同友会副代表幹事、2016年より日本放送協会経営委員、2017年よりみずほフィナンシャルグループ取締役を兼務。

#### 株式会社フェニクシー 創業メンバー 鎌田 富久 (かまだ とみひさ)

東京大学大学院理学系研究科情報科学博士課程修了。理学博士。

東京大学在学中の 1984年にソフトウェアのベンチャー企業 ACCESS 社を荒川亨氏とともに設立。組み込み向け TCP/IP 通信ソフトや、世界初の携帯電話向けウェブブラウザなどを開発。携帯電話向けのコンパクトな HTML 仕様「Compact HTML」を W3C(World Wide Web Consortium)に提案するなど、モバイルインターネットの技術革新を牽引した。2001年に東証マザーズに上場し、グローバルに事業を展開。2011年に退任。その後、スタートアップを支援する TomyK(<http://tomyk.jp>)を設立し、ロボットベンチャー SCHAFT(米 Google が買収)の起業を支援するなど、ロボット、AI、IoT (Internet of Things)、人間拡張、宇宙、ゲノム、医療などのテクノロジー・スタートアップを多数立ち上げ中。著書『テクノロジー・スタートアップが未来を創る-テック起業家をめざせ』(東京大学出版会)にて、起業マインドを説く。

株式会社フェニクシー 創業メンバー 松本 大 (まつもと おおき)

1987年東京大学法学部卒業後、ソロモン・ブラザーズを経て、ゴールドマン・サックスに勤務。1994年、30歳で当時同社最年少ゼネラル・パートナー（共同経営者）に就任。1999年、ソニー株式会社との共同出資でマネックス証券株式会社を設立。2004年にはマネックスグループ株式会社を設立し、以来CEOを務める。マネックスグループは、個人向けを中心とするオンライン証券子会社であるマネックス証券（日本）、TradeStation証券（米国）・マネックスBOOM証券（香港）などを有するグローバルなオンライン金融グループである。株式会社東京証券取引所の社外取締役を2008年から2013年まで務めたほか、数社の上場企業の社外取締役を歴任。現在、米マスターカード、株式会社ユーザベースの社外取締役も務める。

【参加企業からのコメント】（五十音順）

ダイキン工業株式会社

ダイキン工業では、これまで「空調」「化学」「フィルタ」を3つの柱にグローバルに事業を展開する中で、省エネ技術や製品の世界への普及を推進し、地球環境課題などの社会課題の解決に取り組んできました。

今後、気候変動や人口構造の変化等に伴う課題の深刻化が予想される中、持続可能なグローバル社会実現のために、環境負荷を低減しながら、人と空間を健康で快適にする新しい価値を提供することが求められており、これらを牽引するイノベーション人材の育成が急務となっています。本プロジェクトから世界に影響を与える人材や企業が生まれることを強く期待しています。

富士フイルム株式会社

富士フイルムは、持続可能な開発目標(SDGs)に沿って「環境」「健康」「生活」「働き方」を重点4分野として設定し、イメージング、ヘルスケア、高機能材料などの領域で革新的技術・製品・サービスの提供を通じて、社会課題の解決に取り組んでいます。

今回開始される日本初のプログラムへの参画により、写真フイルムなどで培い、さらに進化させてきた当社の多様な技術を活かした新規事業を創出することで「新たな価値」を提供していきます。さらに本プログラムを通じて、企業発のイノベーションが活性化されることを期待します。

【本件に関する報道関係お問い合わせ先】

藤井、横田（株式会社井之上パブリックリレーションズ内）

TEL : 03-5269-2301 FAX:03-5269-2305

E-mail: [phoenixi@inoue-pr.com](mailto:phoenixi@inoue-pr.com)